NEC PC98-NXシリーズ
DOS/Vマシン
NEC PC-9821シリーズ　対応

Ultra ATA/66対応　内蔵IDEハードディスクドライブ

UHDI-GH/UI Series
取扱説明書

ダミー表紙付

株式会社 アイ・オー・データ機器

68863-01

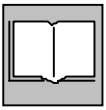
【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- **I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。**
- **Microsoft,Windows,Windows NT,MS及びMS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。**
- **その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。**

UHDI-GH/UIシリーズ 取扱説明書
2000.Jun.26 68863-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。



お読みになる前に

このたびは、Ultra ATA/66対応 内蔵ハードディスクとUltra ATA/66インターフェイスボードのセット品『UHDI-GH/UIシリーズ』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
UHDI-GHシリーズ	添付の別紙をご覧ください。
UHDI-GH/UIシリーズ	UHDI-GHシリーズとUIDE-66のセット品
本ボード	UIDE-66
本ハードディスク	UHDI-GHシリーズ
標準HDD	本製品を取り付ける前からパソコンに取り付けられている起動用ハードディスク
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition の総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98/95	Windows 98,Windows 95の総称

● 作業の進め方

はじめに *P.1*

ここはすべて読んで、作業してください。

取り付けよう *P.13*

ここで本製品をどう使うかを決め、実際に作業します。

本ボードを使えるようにしよう *P.14*

ここで本ボードを使えるようにします。

取り付けかたを決めよう *P.15*

ここで本製品の使い方から作業方法を決定します。

パソコンのIDEから起動する *P.16*

本ハードディスクは増設用となります。
途中で、【フォーマットしよう】を参照します。

本ボードから起動する *P.17*

さらに使い方で作業方法が分かれます。

本ハードディスクを増設用として使う *P.18*

本ハードディスクは増設用となります。
途中で、【フォーマットしよう】を参照します。

本ハードディスクを起動用として使う *P.19*

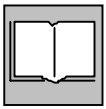
本ハードディスクは起動用となります。
途中で、【起動用にコピーしよう】を参照します。

フォーマットしよう *P.23*

ここでは、フォーマット方法を説明します。

起動用にコピーしよう *P.47*

ここでは、標準HDDの内容をコピーする方法を説明します。



もくじ

お読みになる前に..... i
もくじ..... iii

はじめに……1

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
ユーザー登録しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
実行用ディスクを作ろう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
取り扱いおよび使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
本製品の性能を発揮するには ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

取り付けよう……13

本ボードを使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
取り付け方を決めよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
パソコンのIDEから起動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
本ボードから起動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

フォーマットしよう……23

フォーマット手順の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
パーティションについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
フォーマット後のドライブ名について ・・・・・・・・・・・・・・ 27
フォーマットしよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

起動用にコピーしよう……47

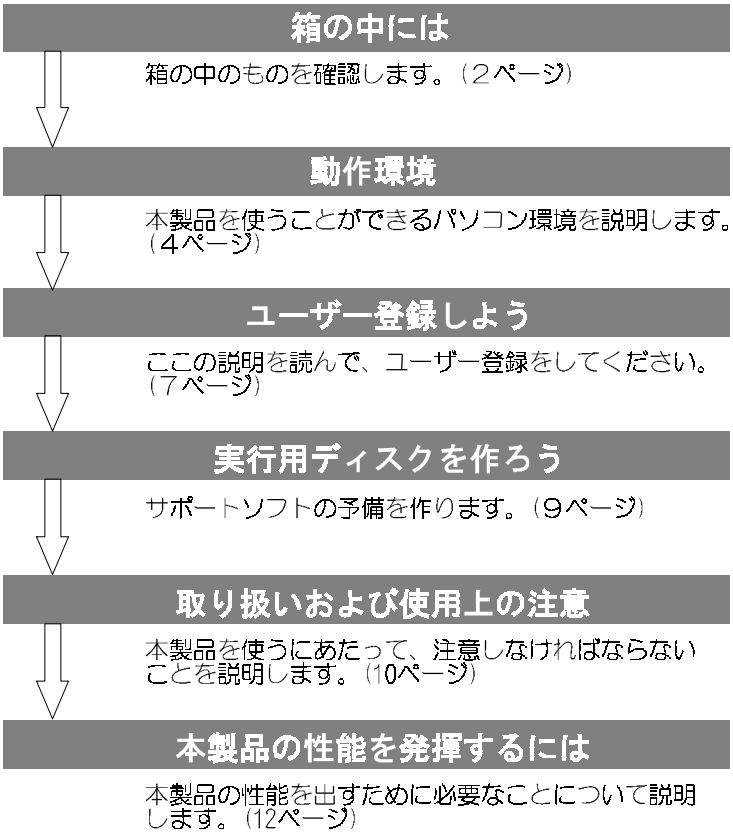
入れ替え手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

付 録……51

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
標準HDDのジャンパ設定について ・・・・・・・・・・ 54
別売オプション品について ・・・・・・・・・・・・・・ 57
ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

サポートセンターへのお問い合わせ ・・・・・・・ 60
サポートソフトのバージョンアップ ・・・・・・・ 62
保証について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
修理について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

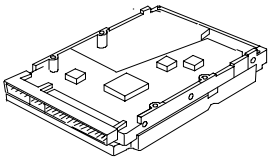
はじめに


箱の中には
箱の中のものを確認します。（2ページ）
動作環境
本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。（4ページ）
ユーザー登録しよう
ここの説明を読んで、ユーザー登録をしてください。（7ページ）
実行用ディスクを作ろう
サポートソフトの予備を作ります。（9ページ）
取り扱いおよび使用上の注意
本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。（10ページ）
本製品の性能を発揮するには
本製品の性能を出すために必要なことについて説明します。（12ページ）

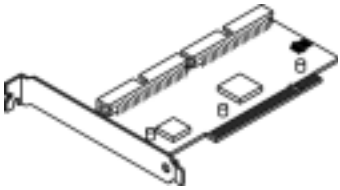
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

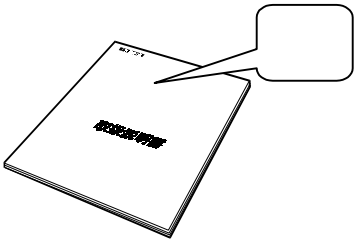
お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。



□ **ハードディスクドライブ**
［UHDI-GHシリーズ］



□ **Ultra ATA/66**
インターフェースボード
［UIDE-66］



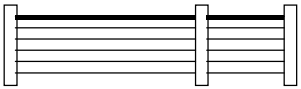
☑ **UHDI-GH/UIシリーズ取扱説明書**
［本書］



□ **UIDE-66取扱説明書**

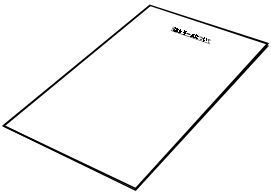


□ **UIDE-66サポートソフト**
［3.5インチ2HD(1.44MB)］

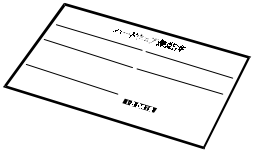


□ **Ultra ATA/66対応**
IDEフラットケーブル
［FL-140H-L相当(60cm)］

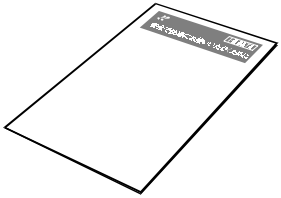
□ **ハードディスク固定用ネジ(４本)**



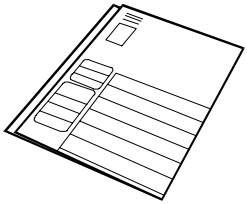
□ **『UHDI-GHシリーズについて』**



□ ハードウェア保証書
（２枚）



□ 『安全で快適にお使いいただくために』



□ ユーザー登録カード

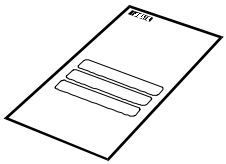


□ ハードウェアシリアルNo. シール
（２枚）



□ B'sCrew for Windows一式

- フロッピーディスク
- ビー・エイチ・エー社製
  ユーザー登録ハガキ
- B'sCrew for Windows
  ユーザーズマニュアル
- B'sCrew for Windows
  専用シリアルNO. シール



□ Verシール

B'sCrew for Windowsに関しては、ビー・エイチ・エー社にお問い合わせください。（61ページ）

動作環境

対応機種および対応ＯＳ

対応機種※1	対応OS（日本語版のみ）
DOS/Vマシン※2 NEC PC98-NXシリーズ NEC PC-9821シリーズ※3	Windows 98(Second Editionを含む) Windows 95

※1 PCI(Peripheral Component Interconnect) Ver.2.0または2.1バススロットを搭載し、CPUにi486以上を搭載していること。
機種によっては、本ハードディスクの取り付けに別売オプション品の取り付け金具(61ページ)が必要となる場合があります。

※2 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
三菱電機 apricot MS540,富士通 FMV-DESKPOWER SE(FMV-5133DPS),
FMV-DESKPOWER SP(FMV-5150DPS),FMV-DESKPOWER SII20, SII167を除く。

FMV-5133DE3,FMV-5120DE3(96年2月モデル)，FMV-5166D5,FMV-5133D5,FMV-5120D5,FMV-575D5(96年2月モデル)，FMV-DESKPOWER SE,SP(96年2月モデル),FMV-DESKPOWER H,SX,S(95年11月モデル)，FMV-DESKPOWER TE,TP(96年2月モデル),FMV-DESKPOWER T(95年11月モデル)をご使用の場合，転送速度の向上が得られません。FMVの発表時期に関しては富士通株式会社のホームページ(http://www.fujitsu.co.jp/)をご参照ください。

※3 Xa,Xa7,Xa7e,Xa9,Xa10,Xa12,Xa13(/K12,/K16,/W12),
Xa16(/R12,/R16,/W16,/W30),Xa20(/W30,/D30R,/W30R),
Xa200(/D30R,/W30R,/M30R),Xb10/J8,Xc13(/M7,/S5),Xc16(/S5,/S7,/M7),
Xc200(/M7,/S7),Xv13(/R16,/W16),Xv20/W30,V7(/C4K modelA,Bを除く),
V10(/C4R modelA,Bを除く),V12,V13(/S5,/S5R,/S7R,/M7),
V16(/M7,/S5,/S5P,/S5V),V20(/M7,/S5,/S7),
V166(/S5,/S7,/S5C,/S5D,/S7C,/S7D),
V200(/M7,/MZ,/S5,/S7,/SZ,/S7C,/S7D,/SZC,/SZD),V233(/M7,/M7V),
Ra18/N20,Ra20/N12,Ra266(/D30R,/M30R,/N30,/W30R)

PC98-NXシリーズ用取り付け金具

取り付ける場所により使用する金具が異なります。詳しくは下記を参照してください。下記以外の機種については製品カタログ巻末の対応表でご確認ください。

PC98-NXシリーズ	取り付け位置	
	ファイルベイ	専用固定ディスクドライブベイ
デスクトップタイプ MA35D/SZ, MA30D/SZ, MA26D/SZ, MA23D/SZ, MA23C/SZ, MA20C/SZ, MA16C/SZ, VS35(/37A, /47A), VS30(/35C, /35D, /37C, /37D, /45C, /45D, /47C, /47D), VS26D(/SZ, /S5, /S7), VS23D(/S5, /S7), VS20C(/S5, /S7), VS16C/S5 VM30(/3XC, /3XD, /4XC, /4XD, /37C, /37D, /47C, /47D),	×	HDK-NXS
ミニタワータイプ MA40D/MZ, MA33D/MZ, MA30E/MZ, MA30D/MZ, MA23D/MZ, VM550J(/77C, /77D, /7GC, /7GD, /7ZC, /7ZD, /87D, /8ZD, /8GD), VM40(/3FC, /3FD, /4FC, /4FD), VM35(/3XC, /3XD, /3ZC, /3ZD, /4XC, /4XD, /4ZC, /4ZD), VM30G(/47C, /47D), VS33D/M7, VS30D/M7, VS30D/MZ, VS26D(/MZ, /M7)	HDK-FB※1	HDK-NXM
ミニタワータイプ MA50J/HZ, MA45D(/HZ, /MZ), MA35D/MZ, VM45J(/6GC, /6GD, /6ZC, /6ZD), VM45D(/5GC, /5GD, /5ZC, /5ZD), VM40D(/57C, /57D)	HDK-FB※1	金具は使用しません。※2

×　：取り付け不可

HDK-xx：その型番の取り付け金具(58ページ)が必要です。

※1 別途オプションケーブル（弊社製「FL-I40H」など）が必要です。

※2 別途オプションケーブル（弊社製「FL-I40H-L」など）が必要です。

DOS/Vマシン用取り付け金具

取り付け位置	
ファイルベイ	専用固定ディスクドライブベイ
HDK-FB	金具は使用しません。

PC-9821シリーズ用取り付け金具

以下の表を確認し、必要な取り付け金具を確認してください。

PC-9821シリーズ	取り付け位置	
	ファイルベイ	専用固定ディスクドライブベイ
Xa, Xc13(/M7), Xc16(/M7), Xc200(/M7), Xv13(/R16, /W16), Xv20(/W30), V13(/M7), V16(/M7), V20(/M7), V200(/M7, /MZ), V233(/M7, /M7V)	HDK-FB	×
Xa7, Xa7e, Xa9, Xa10, Xa12, Xa13(/K12, /K16, /W12), Xa16(/R12, /R16), Xb10(/J8), Xc13(/S5), Xc16(/S5, /S7), Xc200(/S7), V7(/C4K modelA, Bを除く), V10(/C4R modelA, Bを除く), V12, V13(/S5, /S5R, /S7R), V16(/S5, /S5P, /S5V), V20(/S5, /S7), V166(/S5, /S7), V200(/S5, /S7, /S7C, /S7D, /SZ, /SZC, /SZD)		HDK-DB
Xa16(/W16, /W30), Xa20(/W30, /D30R, /W30R), Xa200(/D30R, /W30R, /M30R), Ra18(/N20), Ra20(/N12), Ra266(/D30R, /M30R, /N30, /W30R), V166(/S5C, /S5D, /S7C, /S7D)		HDK-RA

× ：取り付け不可

HDK-xx：その型番の取り付け金具(58ページ)が必要です。

ユーザー登録しよう

ここではユーザー登録について説明します。

本製品のユーザー登録について

1 「Verシール」を所定の位置に貼ります。

添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2 「ハードウェアシリアルNo.シール」を所定の位置に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ユーザー登録します。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録してください。

●オンライン登録(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録してください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録してください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキ登録

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

・弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録した方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
・ハガキ登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

B'sCrew for Windowsのユーザー登録について

添付のビー・エイチ・エー社 B'sCrew for Windowsセットの中にある「ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ」にてユーザー登録をしてください。

実行用ディスクを作ろう

本製品に添付されているフロッピーディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。（以下の例は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合です。）

1 フォーマット済みの空きフロッピーディスクを１枚用意します。

空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44MB」を１枚用意します。

2 サポートソフトを書き込み禁止にします。

3 ディスクのコピーを行います。

「マイコンピュータ」の「3.5インチ FD」を右クリックし、「ディスクのコピー」を選択します。



4 メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトは大切に保管してください。

取り扱いおよび使用上の注意

添付の『安全で快適にお使いいただくために』もあわせてご覧ください。
また、サポートソフト内の「README.TXT」を必ずご覧ください。

● 使用する際の注意

・ハードディスクは消耗品です。

故障した場合に備えて、定期的にバックアップを取ることをおすすめします。なお、消失したデータなどの保証は一切いたしかねますので、ご了承ください。

・定期的にバックアップしてください。

記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障等によって破壊された場合、復旧することができません。

●取り扱い上の注意

以下の事項を守らないと火災・感電・けが・動作不良の原因になります。

●濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。
●高温、多湿、低温の場所に放置しないでください。
●コネクタ部分に金属を差し込まないでください。

●取り付け・取り外しの際の注意

取り付け・取り外しの際は、以下の事項を守らないと火災・感電・けが・動作不良の原因になります。

●パソコン本体および周辺機器の電源を切り、電源ケーブルを抜いて、電源を切った後、30分以上経過してから作業を行ってください。
●本製品の基板部分には絶対に触れないでください。
●パソコン内部の部品や別売オプションの取り付け用金具などにはけがをしないように注意して作業を行ってください。
●パソコンは接続を間違えると、故障したり、正常に動作しなくなる可能性があります。

●パソコン内部や本製品は静電気に対して大変敏感です。
金属製のものにふれるなどして静電気を放電してから作業を行ってください。

●パソコン内部にネジを落とさないでください。落としてしまった場合は、内部の電子回路に触れないようにすぐに取り除いてください。

本製品の性能を発揮するには

本製品の性能を完全に発揮するために必要な条件について説明します。

本製品が対応している転送方式

- Ultra DMA/66
- Ultra DMA/33
- DMA
- PIO

● Ultra DMA/66転送方式を利用するためには

本製品でUltra DMA/66転送方式を利用するには以下の条件を満たしている必要があります。

・「ファイルシステム」および「仮想メモリ」が「32ビット」である。
確認方法については、下の【システム環境の確認】をご覧ください。

上の条件を満たせない場合
PIOまたはDMAモードの転送となります。

システム環境の確認

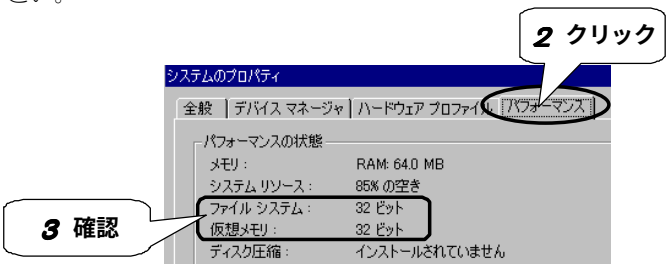
1 「システムのプロパティ」を起動します。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

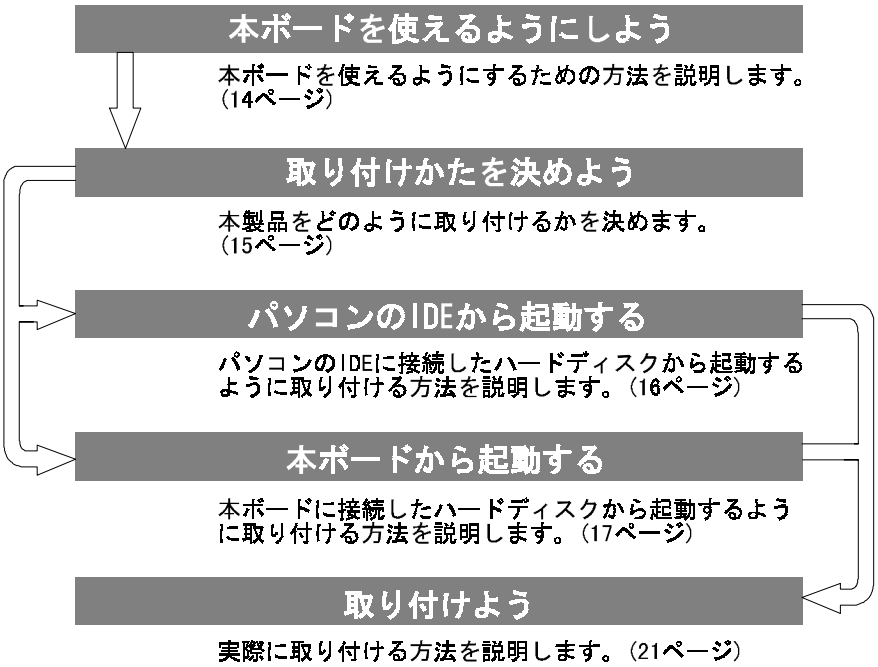
2 ［パフォーマンス］タブをクリックします。

3 パフォーマンスの状態を確認します。

「ファイルシステム」および「仮想メモリ」が「32ビット」になっていることを確認します。
「32ビット」でない場合は、パソコンメーカーに変更方法をご確認ください。



取り付けよう


本ボードを使えるようにしよう
本ボードを使えるようにするための方法を説明します。
(14ページ)
取り付けかたを決めよう
本製品をどのように取り付けるかを決めます。
(15ページ)
パソコンのIDEから起動する
パソコンのIDEに接続したハードディスクから起動するように取り付ける方法を説明します。(16ページ)
本ボードから起動する
本ボードに接続したハードディスクから起動するように取り付ける方法を説明します。(17ページ)
取り付けよう
実際に取り付ける方法を説明します。(21ページ)

本ボードを使えるようにしよう

ここでは、本ボードを取り付け、使えるようにするために「UIDE-66取扱説明書」のどこを読めばよいのかを説明します。

1 取り付け前の確認

「UIDE-66取扱説明書」内の以下の場所をご覧ください。

【3．各部の名称・機能】・・・・・・・・・・・・・ (5ページ)
【5．注意事項】・・・・・・・・・・・・・・・・・ (8ページ)
【7．パソコン環境の確認】・・・・・・・・・・・・ (10ページ)

ここは読み飛ばしてください
【本製品に起動用ハードディスクを接続する場合】(11ページ)の内容は読み飛ばしてください。

2 本ボードのセットアップ

「UIDE-66取扱説明書」内の以下の場所をご覧ください。

【1．本製品の取り付け】・・・・・・・・・・・・・ (14ページ)
【2．ドライバのインストール】・・・・・・・・・・ (15ページ)
【3．取り付け後の確認】・・・・・・・・・・・・・ (25ページ)

以上をお読みの上、本ボードを使えるようにしてください。

取り付け方を決めよう

ここでは、本製品の使い方を決め、本ハードディスクを取り付けます。

【本ボードを使えるようにしよう】をした後でお読みください
ここは、本ボードが使えるようになったあとでお読みください。

起動する場所を決めよう

パソコンをどこに取り付けたハードディスクから起動するかによって手順が異なります。

● **パソコンのIDEに取り付けたハードディスクから起動する**

本ボードには起動用のハードディスクは取り付けません。
本ハードディスクは、増設用として使うこととなります。
⇒次ページの【パソコンのIDEから起動する】をご覧ください。

● **本ボードに取り付けたハードディスクからOSを起動する**

⇒【本ボードから起動する】(17ページ)をご覧ください。

パソコンのIDEから起動する

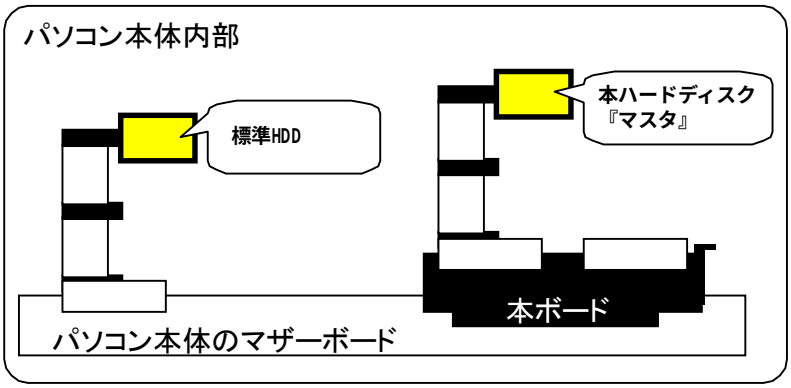
ここでは、パソコンのIDEに取り付けたハードディスクから起動するための方法について説明しています。

本ハードディスクの取り付け

標準HDDは移動しないでください
本手順ではパソコンのIDEから起動する方法について説明しています。
本ボードから起動したい場合は、【本ボードから起動する】(17ページ)をご覧ください。

1 本ハードディスクを本ボードに取り付けます。

本ハードディスクを本ボードの「プライマリ」に取り付け、「マスタ」に設定します。



フォーマットする

2 本ハードディスクをフォーマットします。

【フォーマットしよう】(23ページ)を参照してください。

この作業が終われば、本製品はお使いいただけます。

本ボードから起動する

ここでは、本ボードに取り付けたハードディスクから起動するための方法について説明しています。

使い方を決めよう

本ハードディスクをどう使うかによって手順が異なります。

● **本ハードディスクを増設用ハードディスクとして使う**

本ボードには標準HDDを取り付け、そこから起動します。
本ハードディスクは、増設用として使うこととなります。
⇒次ページの【本ハードディスクを増設用として使う】をご覧ください。

● **本ハードディスクを起動用ハードディスクとして使う**

最初、本ボードには本ハードディスクのみ取り付けます。
作業を行った後、本ボードに標準HDDを取り付けます。
⇒【本ハードディスクを起動用として使う】(19ページ)をご覧ください。

本ハードディスクを増設用として使う

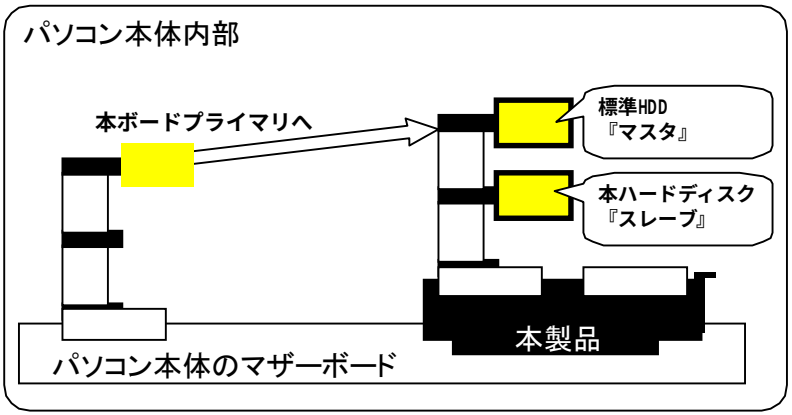
本ハードディスクの取り付け

1 標準HDDを本ボードに移動します。

パソコンの取扱説明書と、本書【取り付けよう】(21ページ)を参照して、標準HDDを本ボードに移動します。

2 本ハードディスクを本ボードに取り付けます。

【取り付けよう】(21ページ)を参照して、本ボードの「プライマリ」に本ハードディスクを「スレーブ」設定で取り付けてください。



PC-9821シリーズをお使いの方へ
パソコンのCD-ROMドライブも本ボードに接続してください。
パソコンに接続していると、CD-ROMドライブが動作しない場合があります。

フォーマットする

3 本ハードディスクをフォーマットします。

【フォーマットしよう】(23ページ)を参照してください。

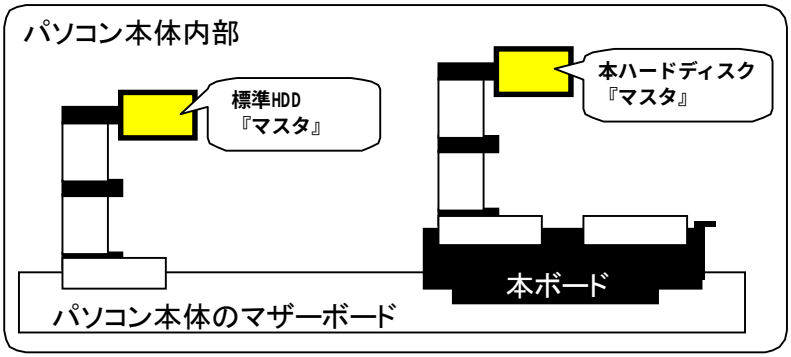
この作業が終われば、本製品はお使いいただけます。

本ハードディスクを起動用として使う

本ハードディスクの取り付け

1 本ハードディスクを本ボードに取り付けます。

【取り付けよう】(21ページ)を参照してください。



内容をコピーする

2 本ハードディスクに標準HDDの内容をコピーします。

【起動用にコピーしよう】(47ページ)を参照してください。

標準HDDの取り外し

3 標準HDDを取り外します。

パソコンの取扱説明書と、本書【取り付けよう】(21ページ)を参照して、標準HDDをパソコンから取り外します。

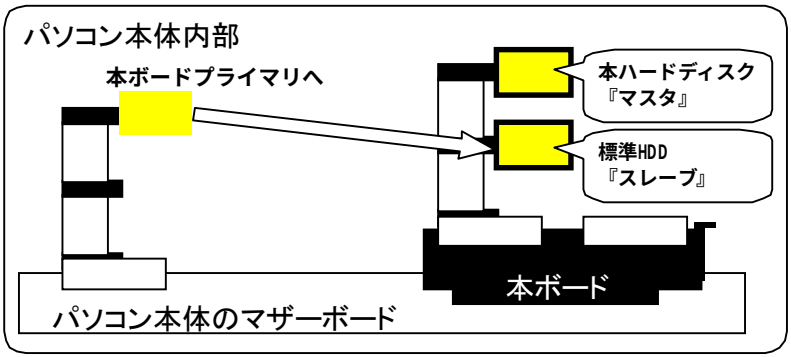
4 パソコンが正しく起動することを確認します。

標準HDDについて

標準HDDをそのまま保存しておきますと、何らかのトラブルがあった際に標準HDDの内容を再びコピーすることができます。弊社では本ボードに取り付けたハードディスクへ直接OSをインストールすることについてはサポートいたしかねます。

標準HDDをお使いになる場合は、本ボードの「プライマリ」に「スレーブ」設定で取り付けるか、「セカンダリ」に取り付けてください。その後、フォーマットしてお使いください。

この作業が終われば、本製品はお使いいただけます。



PC-9821シリーズをお使いの方へ

パソコンのCD-ROMドライブも本ボードに接続してください。パソコンに接続していると、CD-ROMドライブが動作しない場合があります。

取り付けよう

ここでは【パソコンのIDEから起動する】(16ページ)、【本ボードから起動する】(17ページ)にて決めた取り付け方にしたがって、本製品を取り付ける方法を説明します。

取り付け作業をする前に
取り付けの作業をする前に、必ずパソコンの電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。

● 本ハードディスクを取り付ける方法について

UIDE-66取扱説明書をご覧ください。

信号ケーブルについて
取扱説明書によっては「信号ケーブル」という記載があるものがありますが、「IDEフラットケーブル」と読み替えてください。
取り付け金具について
【動作環境】(４ページ)をご覧になってご使用のパソコンに必要な取り付け金具を用意してください。
また、取り付け金具の取扱説明書もお読みください。

● 標準HDDの取り付け・設定方法について

パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

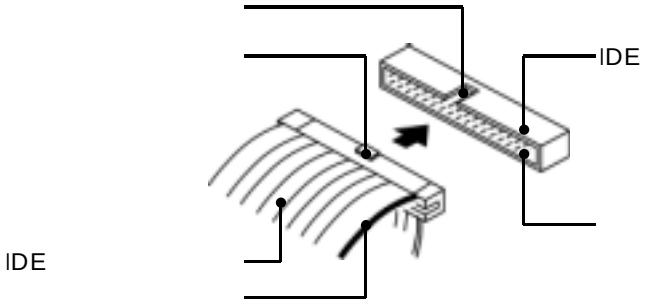
ジャンパ設定について
本書でも参考として標準HDDのジャンパ設定の一例を記載しています。
【標準HDDのジャンパ設定について】(54ページ)をご覧ください。
そこの通りに設定しても解決できない場合は、パソコンメーカーにお問い合わせください。

ケーブルにコネクタを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。

逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを差し込んだり抜いたりする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

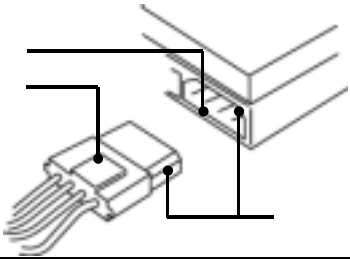
●IDEフラットケーブル

IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。）



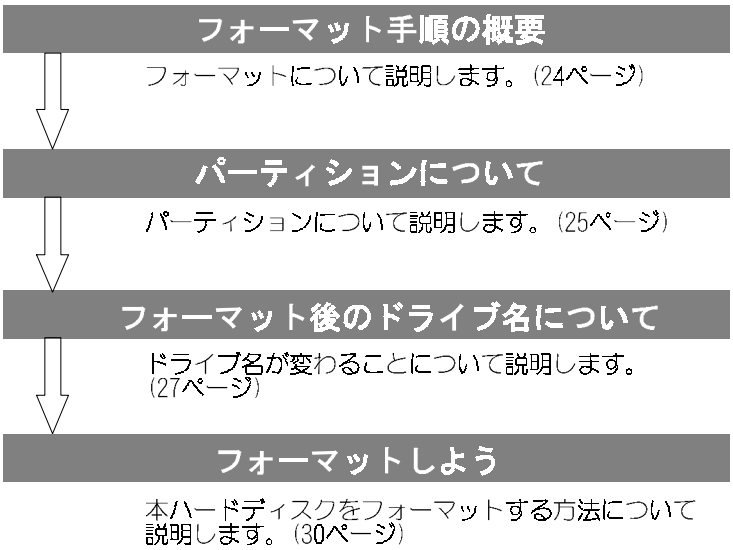
●電源ケーブル

電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。



フォーマットしよう

本ハードディスクを起動用としてお使いの方へ
弊社ではOSのインストールについてのサポート・保証はいたしておりません。B'sCrew for Windowsにて起動用ハードディスクの内容をコピーする方法のみサポートさせていただきます。
【起動用にコピーしよう】(47ページ)をご覧ください。



フォーマット手順の概要

ここでは、ハードディスクをフォーマットする手順の概要を説明します。

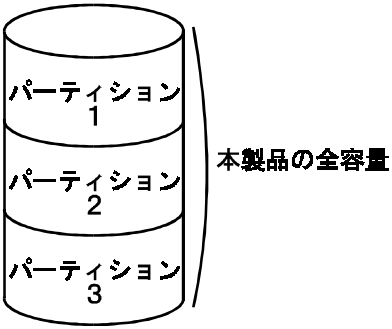
フォーマットのご注意
- **本ハードディスク以外のハードディスクをフォーマットしないようにご注意ください。**
- **フォーマットや他の動作でハードディスクのアクセスランプが点滅している時は、絶対にパソコンの電源を切ったり、リセットしたりしないでください。**

●フォーマット手順の概要

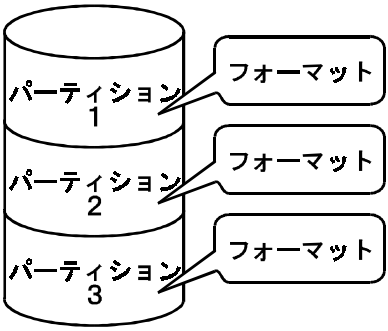
フォーマットは以下の手順で行います。

①パーティション（区画領域）※の領域確保を行う

※ パーティションについては次ページの【パーティションについて】参照



②その領域のフォーマットを行う



パーティションについて

ここでは、パーティションについて説明します。
ハードディスクは、パーティションを１つは作らなければ使うことができません。

●１つのパーティション＝１つのドライブ

ハードディスクのパーティションは、作成したパーティション単位にドライブ名が割り当てられます。

●パーティションの種類(PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンのみ)

パーティションには以下の2つがあります。

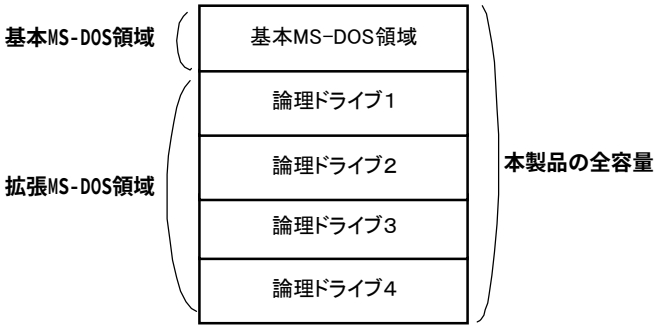
・基本MS-DOS領域

「基本MS-DOS領域」は1つしか作成できません。
本ハードディスクを増設用として使用する場合には、「基本MS-DOS領域」を作成せず、「拡張MS-DOS領域（の論理ドライブ領域）」だけを作成することをおすすめします。

・拡張MS-DOS領域の論理ドライブ領域

「拡張MS-DOS領域の論理ドライブ領域」は、「拡張MS-DOS領域」内に作成します。複数作成することができます。

本製品内に「基本MS-DOS領域」が１つと「拡張MS-DOS領域」内に論理ドライブが４つある例



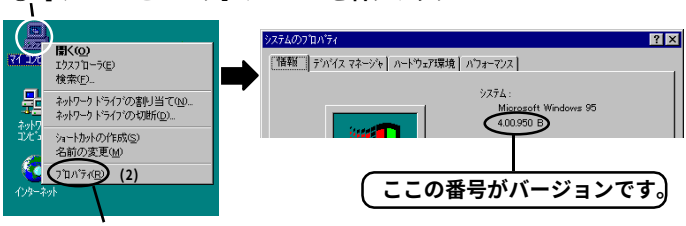
●OS毎の１パーティションの最大容量

フォーマッタソフトやフォーマットコマンドでパーティションのサイズ（容量）を設定することができますが、使用するOSによって最大容量に制限があります。

最大容量を超える容量は、いくつかのパーティションに分割して使用することになります。

Windows 95はバージョンによって最大容量が異なります
Windows 95のバージョン（4.00.950、4.00.950a、4.00.950 B、4.00.950 C）は以下の手順で確認できます。

①［マイコンピュータ］アイコンを右クリック



②[プロパティ]をクリック

OS	1パーティションの最大容量
Windows 98(FAT32使用時)	2T※バイトまで
Windows 95(FAT32使用時) (4.00.950 B/4.00.950 Cのみ)	2T※バイトまで
Windows 95(FAT16使用時) (4.00.950/4.00.950a/4.00.950 B/ 4.00.950 C)	2,047Mバイトまで

※ 1Tバイト＝1,000Gバイト＝1,000,000Mバイト

PC-9821シリーズはパーティションの数に制限があります。
PC-9821シリーズは、ハードディスク１台につき同時に使えるパーティション（アクティブパーティション）は４つまでです。
したがって、Windows 95(FAT16)でパーティションを作成した場合は、本製品は約8Gバイトのみ使用可能です。すべてのパーティションを同時に使用することはできません。

フォーマット後のドライブ名について

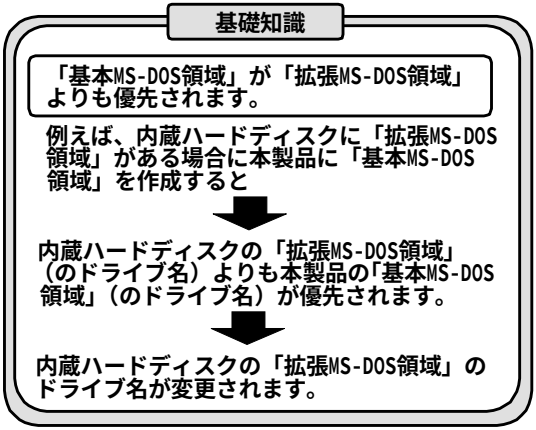
ここでは、本製品によって各ドライブのドライブ名(ドライブ文字)が変わってしまうことについて説明します。

●標準HDDのドライブ名が変わる

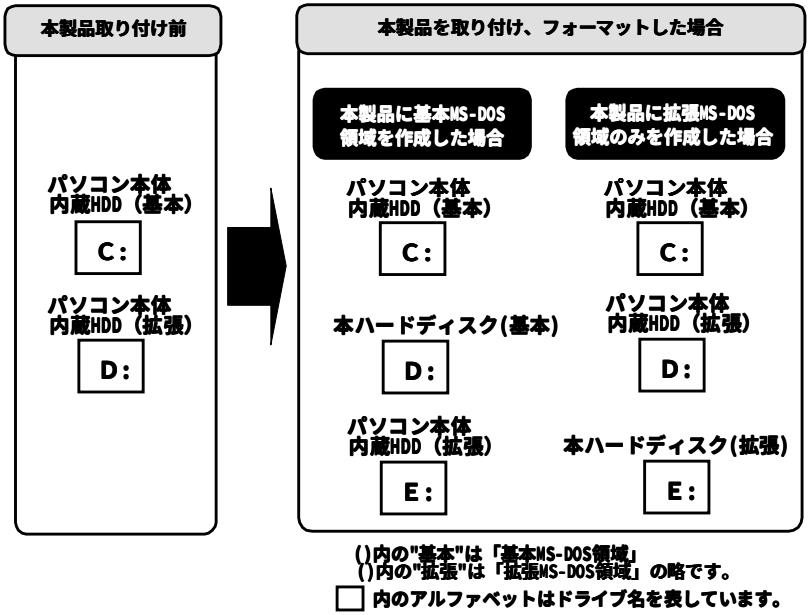
(PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンのみ)

標準HDDが「基本MS-DOS領域」と「拡張MS-DOS領域」に分かれている場合は、本ハードディスクの構成によってはドライブ名が変わることがあります。

本製品を接続し、フォーマットすると、ドライブ名（ドライブ番号）が変わってしまいます。（次ページ図参照）



例）本製品取り付け前と、フォーマット後でのドライブ名



上の例では、本ハードディスクに「基本MS-DOS領域」を作成すると、標準HDDの「基本MS-DOS領域」のドライブ名が変更（D：からE：に）されていることがわかります。

ドライブ名を変更したくない場合

本ハードディスクには「拡張MS-DOS領域」のみ作成してください。

※添付のB'sCrew for Windowsでは、必ず「基本MS-DOS領域」を作成しますので、ドライブ名を変更したくない場合は使わないでください。

●標準HDD以外のドライブ名が変わる

例えば、CD-ROMの場合、取り付けた本ハードディスクのドライブ名が標準HDDとCD-ROMのドライブ名の間に入ります。

ドライブ名変更に関する注意
本製品フォーマット後は、CD-ROMのドライブ名を指定したバッチファイルなどがある場合は新しいドライブ名に変更してください。

フォーマットしよう

ここでは、本ハードディスクをフォーマットする方法について説明します。

本ハードディスクをフォーマットするには、下の２つの方法があります。

●「FDISK」を使ってフォーマットする方法

Windows 98/95の「Command Prompt Only」上で「FDISK」を使って領域確保後、Windows 98/95上でフォーマットする方法です。

●「B'sCrew for Windows」を使ってフォーマットする方法

Windows 98/95上で「B'sCrew for Windows」を使ってフォーマットする方法です。「B'sCrew for Windows」を使う方法の詳細については、「B'sCrew for Windowsユーザーズマニュアル」をご覧ください。

●ドライブ名変更に関する注意(PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンのみ)
標準HDDに「拡張MS-DOS領域」がある場合、本製品をこの方法でフォーマットすると、「基本MS-DOS領域」を作ってしまうため、ドライブ名が入れ替わります。(詳細は、【フォーマット後のドライブ名について】(27ページ)参照)

●物理フォーマットについて(PC-9821シリーズのみ)
本ボードに取り付けたハードディスクは物理フォーマットできません。物理フォーマットを行う際には、「UIDE-66取扱説明書」をご覧になり、「ディスクの初期化」を行ってください。

ここでは、「FDISK」を使ってフォーマットする方法を説明します。

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンの場合 ・・・・・・・・・次ページ

PC-9821シリーズの場合 ・・・・・・・・・39ページ

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンの場合

FDISKを起動する

1 パソコンを「Command Prompt Only」で起動します。

OSによって起動する方法が異なります。

Windows 98:[Ctrl]キーを押したままパソコンを起動します。
メニューから、「Command prompt only」を選択します。
(メニューが表示されない場合は、パソコン起動中に[Ctrl]キーを押したり放したりを繰り返してみてください。)

Windows 95:パソコンを起動し、「Starting Windows 95」と表示されたら、[F8]キーを押し、すぐに離します。
メニューから「Command prompt only」を選択します。

FDISKを起動する際には
必ず上の手順にて「Command Prompt Only」を起動してください。
Windowsの「MS-DOSプロンプト」上ではFDISKを使うと、パーティションが消えるなどの誤動作の原因となります。

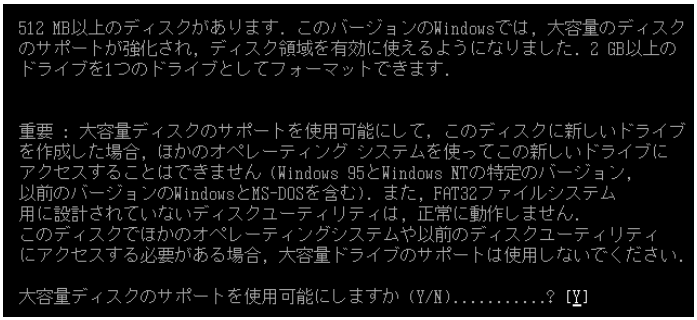
2 FDISKを起動します。

「FDISK」と入力し、↵キーを押します。

3 下の画面が表示されます。

次ページの表をご覧になり、「Y」もしくは「N」と入力して、↵キーを押します。

下の画面が表示されない場合
Windows 95のバージョン 4.00.950/4.00.950aをお使いの場合は表示されません。読み飛ばして次ページの手順**4**へお進みください。
Windows 95のバージョンについては、26ページをご覧ください。

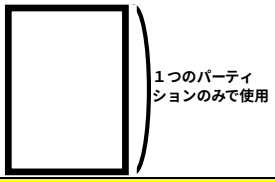


「Y」を入力する場合

例1)本製品の全容量を1つのパーティションで使用する場合

例2)2047Mバイト以上のパーティションを作成したい場合

作成例)

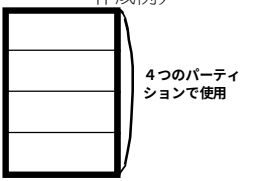


「Y」を入力し、パーティションを作成すると、Windows 95 4.00.950/4.00.950aなどのOSからアクセスできなくなります。

「N」を入力する場合

例)Windows 95 4.00.950/4.00.950aと共用する場合

作成例)



1パーティションの最大容量は、2,047Mバイトとなります。
本製品を複数のパーティションに分割して使用することとなります。

本ハードディスクを選択する

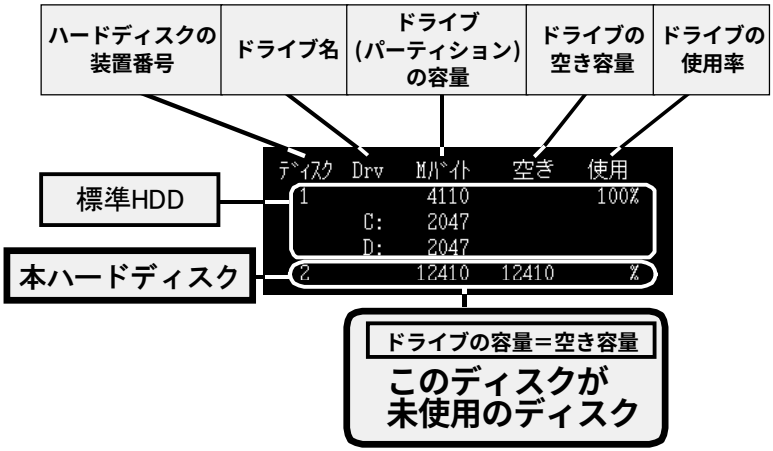
4 「現在のハードディスクドライブを変更」を選びます。

「5」を入力し、↵キーを押します。

「5」(現在のハードディスクドライブを変更)の表示がない場合
本製品が正しく接続されていない可能性があります。
[ESC]キーでFDISKを終了し、再度、ケーブルおよびジャンパピンを確認してください。(【取り付けよう】(21ページ)参照)

5 本ハードディスクを選択します。

ドライブの容量とドライブの空き容量が同じであるハードディスクが本ハードディスクです。その数字を入力して、↵キーを押します。



●Windows 95 4.00.950/4.00.950aのバージョンをお使いの場合
全容量の表示が、全容量の上4桁しか表示されませんが、設定には問題ありません。（表示だけの問題です。）

●未使用のディスクがない場合
本製品が正しく接続されていない可能性があります。
[ESC]キーでFDISKを終了し、再度、ケーブルおよびジャンパピンを確認してください。（【取り付けよう】(21ページ)参照）

拡張MS-DOS領域を作成する

6 「MS-DOS領域または論理MS-DOS･･･」を選択します。

「1」(MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)を入力し、↵キーを押します。

7 「拡張MS-DOS領域を作成」を選択します。

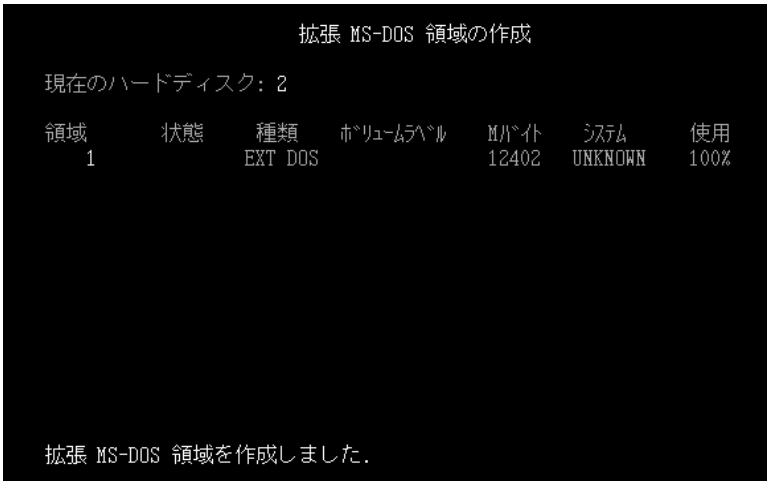
「2」(拡張MS-DOS領域を作成)を入力し、↵キーを押します。

8 本ハードディスクの全容量を指定します。

表示されている領域のサイズを確認し、↵キーを押します。

●ここで指定する領域のサイズについて
この後の手順で「拡張MS-DOS領域」内にいくつかの「論理ドライブ」を作成します。（次ページ参照）
ここでの領域のサイズ指定は、「拡張MS-DOS領域」内のすべての「論理ドライブ」の合計です。
「領域に割り当て可能な最大領域」（拡張MS-DOS領域用の空き容量）が1,000Mバイトあるのに700Mバイトしか指定しなかった場合、残りの300Mバイトは使用できなくなります。
●「拡張MS-DOS領域」と「論理ドライブ」について
「拡張MS-DOS領域」内に「論理ドライブ」を作らないと、そのままドライブとして使うことはできません。

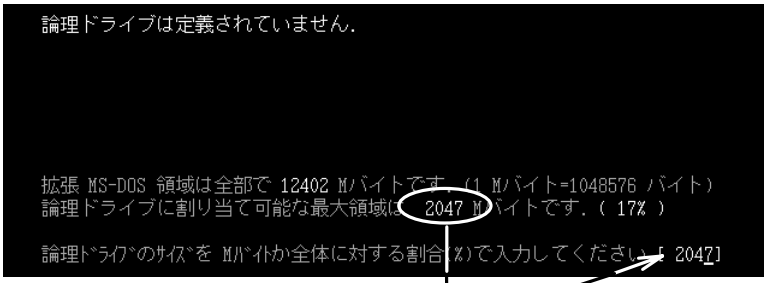
9 下の画面が表示されますので、［ESC］キーを押します。



論理ドライブを作成する

10 作成する「論理ドライブ」の容量を入力します。

「論理ドライブに割り当て可能な最大領域」で表示されている容量以下のサイズを入力し、↵キーを押します。

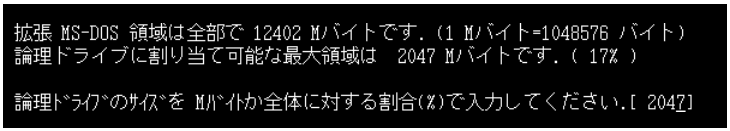


このサイズ以下を入力後,↵キーを押す

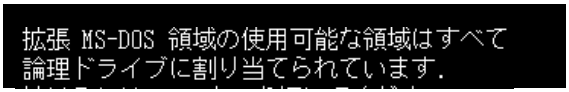
●手順*10*の画面が表示されなかった場合
手順*1*～*7*までの作業をすれば、手順*10*の画面が表示されます。
●「論理ドライブ」の容量の入力方法について
・サイズを［Mバイト］で指定する場合
指定したいサイズの数字のみを入力してください。
（例：1000Mバイトを指定したい場合は、「1000」と入力します。）
・サイズを［%］で指定する場合
指定したいパーセンテージに%をつけて入力してください。
（例：30パーセントを指定したい場合は、「30%」と入力します。）

11 残り容量が無くなるまで「論理ドライブ」を作ります。

「拡張MS-DOS領域」の残り容量によって表示される画面が異なります。



▲この画面の場合は、手順*10*をもう一度行ってください。



▲この画面の場合は、もう「論理ドライブ」は作れません。
⇒［ESC］キーを押してください。

論理ドライブを確認する

12 「領域情報を表示」を選択します。

「4」(領域情報を表示)を入力し、↵キーを押します。

13 「拡張MS-DOS領域」を確認します。

手順8で指定した容量の「拡張MS-DOS領域」が表示されているかどうかを確認します。

14 「論理ドライブ」を確認します。

「Y」を入力し、↵キーを押します。

前ページの【論理ドライブを作成する】で作成した「論理ドライブ」が表示されているかどうかを確認します。

FDISKを終了する

15 [ESC]キーを３回押します。

16 パソコンを再起動します。

[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押し、パソコンを再起動します。

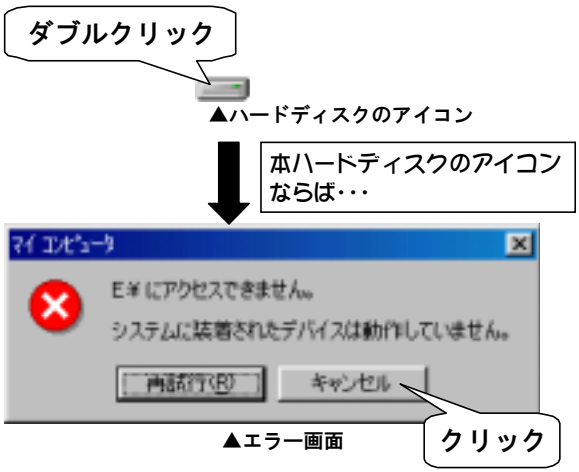
フォーマットする

本ハードディスクを使うには、さらに本ハードディスクをフォーマットする必要があります。

17 本ハードディスクのアイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、「マイコンピュータ」を開きます。
表示されたドライブアイコンの中から本ハードディスクのアイコンを確認します。

本ハードディスクのアイコンの確認方法
ハードディスクのアイコンをダブルクリックし、エラー画面が表示されたアイコンが本ハードディスクのアイコンです。
本ハードディスクのアイコンを確認したら、［キャンセル］ボタンをクリックして、エラー画面を閉じてください。

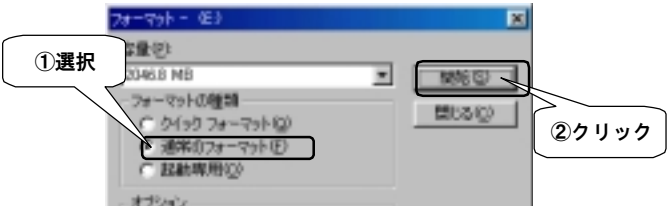


18 表示された［フォーマット］をクリックします。

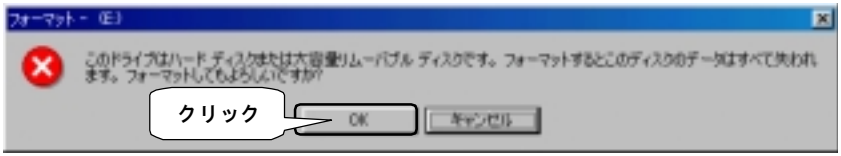
本ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

19 ［通常のフォーマット］でフォーマットします。

［通常のフォーマット］を選び、［スタート］ボタンをクリックします。



20 ［OK］ボタンをクリックします。



21 フォーマットが終わったら、スキャンディスクをします。

フォーマットが終わると、画面上にヘルプが表示されます。
ヘルプの指示にしたがって、スキャンディスクを実行してください。

22 作成した「論理ドライブ」の数だけフォーマットします。

まだフォーマットしていない「論理ドライブ」（本ハードディスクのアイコン）があれば、手順*17* からくり返してください。

22 パソコンを再起動します。

すべての「論理ドライブ」をフォーマットできたら、パソコンを再起動します。

以上でフォーマットは終了です。本製品をご使用ください。

フォーマット後の確認
フォーマット終了後、他の機器のドライブ名が変更される場合がありますので、各装置のドライブ名を再度ご確認ください。

PC-9821シリーズの場合

ここでは、購入したばかりの本ハードディスクを付属の「FDISK」を使用して
フォーマットする手順を簡単に説明します。

本ハードディスクを「ディスクの初期化」する

1 パソコンを起動します。

2 UIDE-66のBIOS設定画面を表示します。

画面に［Press CTRL + GRPH + Z to SETUP］と表示されます。
この時[CTRL] + [GRPH] + [Z]キーを同時に押せば、BIOS設定画面が
表示されます。

3 BIOS設定画面にて「ディスクの消去」をします。

「ディスクの消去」の方法については、「UIDE-66取扱説明書」をご覧
ください。

FDISKを起動する

4 パソコンを「コマンドプロンプトのみ」で起動します。

OSによって起動する方法が異なります。

Windows 98:[CTRL]キーを押したままパソコンを起動します。
メニューから、「コマンドプロンプトのみ」を選択します。（メニューが表示されない場合は、パソコン起動中に[CTRL]キーを押したり放したりしてみてください。）

Windows 95:パソコンを起動し、「Windows 95を起動しています」と表示されたら、［F8］キーを押し、すぐに離します。
メニューから「コマンドプロンプトのみ」を選択します。

●FDISKを起動する際には
必ず上の手順にて「コマンドプロンプトのみ」を起動してください。
Windowsの「MS-DOSプロンプト」上ではFDISKを使うと、パーティションが消えるなどの誤動作の原因となります。

●OSの起動選択メニューが表示されたら
固定ディスク#1のWindows 98/95を選択し、すぐに上の手順を行ってください。

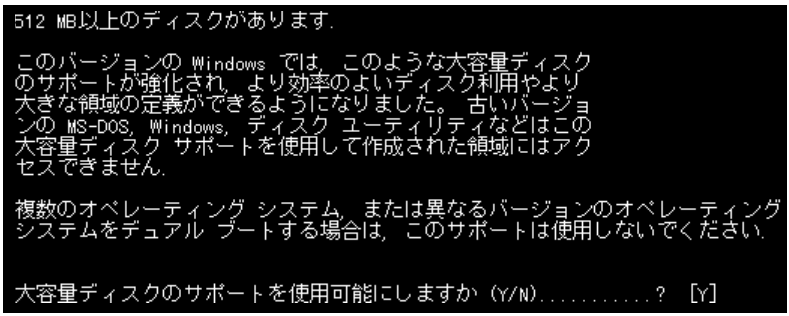
5 FDISKを起動します。

「FDISK」と入力し、↵キーを押します。

6 下の画面が表示されます。

下の表をご覧になり、「Y」か「N」と入力して、↵キーを押します。

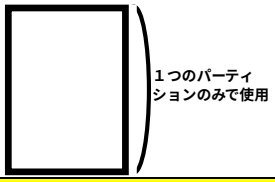
下の画面が表示されない場合
Windows 95のバージョン 4.00.950/4.00.950aをお使いの場合は表示されません。読み飛ばして次ページの手順**7**へお進みください。
Windows 95のバージョンについては、26ページをご覧ください。



「Y」を入力する場合

例1)本製品の全容量を1つのパーティションで使用する場合
例2)2047Mバイト以上のパーティションを作成したい場合

作成例）

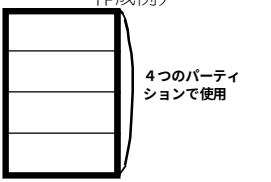


「Y」を入力し、パーティションを作成すると、Windows 95 4.00.950/4.00.950aなどのOSからアクセスできなくなります。

「N」を入力する場合

例)Windows 95 4.00.950/4.00.950aと共用する場合

作成例）



1パーティションの最大容量は、2,047Mバイトとなります。
本製品を複数のパーティションに分割して使用することとなります。

本ハードディスクを選択する

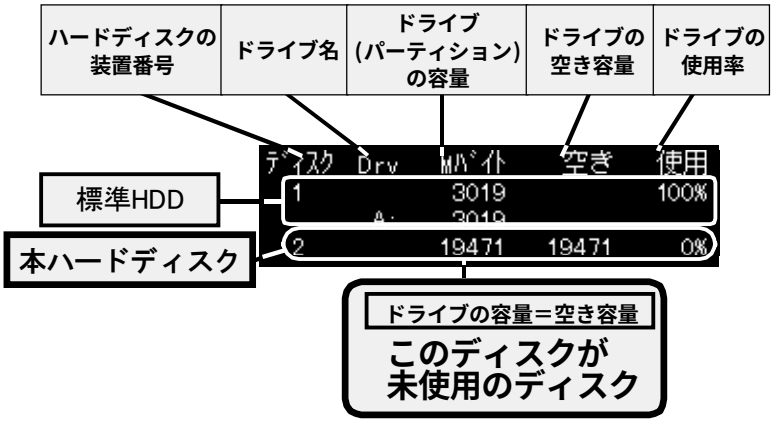
7 「現在の装置を変更」を選びます。

「5」を入力し、↵キーを押します。

「5」(現在の装置を変更)の表示がない場合
本製品が正しく接続されていない可能性があります。
[ESC]キーでFDISKを終了し、再度、ケーブルおよびジャンパピンを確認してください。(【取り付けよう】(21ページ)参照)

8 本ハードディスクを選択します。

ドライブの容量とドライブの空き容量が同じであるハードディスクが本ハードディスクです。その数字を入力して、↵キーを押します。



●Windows 95 4.00.950/4.00.950aのバージョンをお使いの場合
全容量の表示が、全容量の上4桁しか表示されませんが、設定には問題ありません。(表示だけの問題です。)

●未使用のディスクがない場合
本製品が正しく接続されていない可能性があります。
[ESC]キーでFDISKを終了し、再度、ケーブルおよびジャンパピンを確認してください。(【取り付けよう】(21ページ)参照)

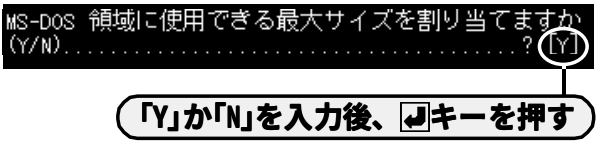
MS-DOS領域を作成する

9 「MS-DOS領域を作成」を選択します。

「1」(MS-DOS領域を作成)を入力し、↵キーを押します。

10 最大サイズの「MS-DOS領域」を作るかどうかを決めます。

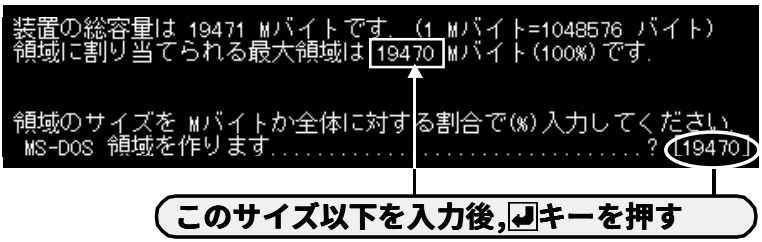
最大サイズで「MS-DOS領域」を作る場合は、「Y」を、作らない場合は「N」を入力して、↵キーを押します。



●手順6にて「Y」を入力していた場合
ここで「Y」を入力すると、本ハードディスクの全容量を使って「MS-DOS領域」が作られます。その場合は、手順13に進んでください。

11 作成する「論理ドライブ」の容量を入力します。

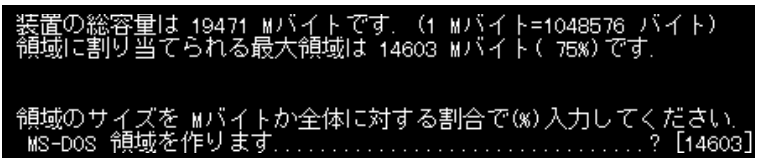
「論理ドライブに割り当て可能な最大領域」で表示されている容量以下のサイズを入力し、↵キーを押します。



●「論理ドライブ」の容量の入力方法について
・サイズを［Mバイト］で指定する場合
指定したいサイズの数字のみを入力してください。
（例：1000Mバイトを指定したい場合は、「1000」と入力します。）
・サイズを［%］で指定する場合
指定したいパーセンテージに%をつけて入力してください。
（例：30パーセントを指定したい場合は、「30%」と入力します。）

12 残り容量が無くなるまで「論理ドライブ」を作ります。

「拡張MS-DOS領域」の残り容量によって表示される画面が異なります。



▲この画面の場合は、手順*10*をもう一度行ってください。



▲この画面の場合は、もう「論理ドライブ」は作れません。

⇒［ESC］キーを押してください。

PC-9821シリーズはパーティションの数に制限があります。
PC-9821シリーズは、ハードディスク１台につき同時に使えるパーティション（アクティブパーティション）は４つまでです。したがって、Windows 95(FAT16)でパーティションを作成した場合は、本製品は約8Gバイトのみ使用可能です。すべてのパーティションを同時に使用することはできません。

MS-DOS領域を確認する

13 「領域情報を表示」を選択します。

「4」(領域情報を表示)を入力し、↵キーを押します。

14 「MS-DOS領域」を確認します。

前ページの【MS-DOS領域を作成する】で作成した「MS-DOS領域」が表示されているかどうかを確認します。

FDISKを終了する

15 ［ESC］キーを３回押します。

16 パソコンを再起動します。

［Ctrl］+［Alt］+［Delete］キーを同時に押し、パソコンを再起動します。

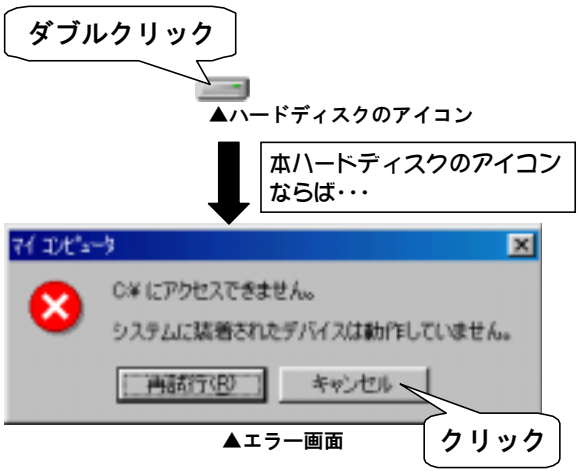
フォーマットする

本ハードディスクを使うには、さらに本ハードディスクをフォーマットする必要があります。

17 本ハードディスクのアイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、「マイコンピュータ」を開きます。
表示されたドライブアイコンの中から本ハードディスクのアイコンを確認します。

本ハードディスクのアイコンの確認方法
ハードディスクのアイコンをダブルクリックし、エラー画面が表示されたアイコンが本ハードディスクのアイコンです。
本ハードディスクのアイコンを確認したら、［キャンセル］ボタンをクリックして、エラー画面を閉じてください。

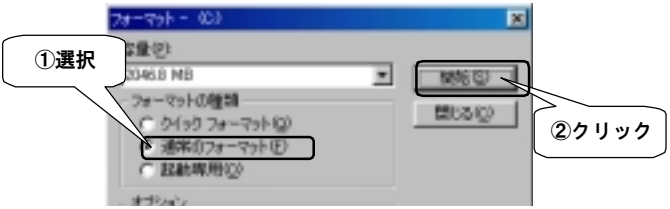


18 表示された［フォーマット］をクリックします。

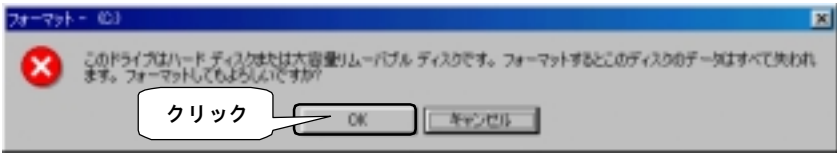
本ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

19 ［通常のフォーマット］でフォーマットします。

［通常のフォーマット］を選び、［開始］ボタンをクリックします。



20 ［OK］ボタンをクリックします。



21 フォーマットが終わったら、スキャンディスクをします。

フォーマットが終わると、画面上にヘルプが表示されます。
ヘルプの指示にしたがって、スキャンディスクを実行してください。

22 作成した「MS-DOS領域」の数だけフォーマットします。

まだフォーマットしていない「MS-DOS領域」（本ハードディスクのアイコン）があれば、手順**17** からくり返してください。

23 パソコンを再起動します。

すべての「MS-DOS領域」をフォーマットできたら、パソコンを再起動します。

以上でフォーマットは終了です。本製品をご使用ください。

フォーマット後の確認
フォーマット終了後、他の機器のドライブ名が変更される場合がありますので、各装置のドライブ名を再度ご確認ください。

MEMO

起動用にコピーしよう

●本ハードディスクを増設用としてお使いの方へ
本ハードディスクを増設用として使う場合は、【フォーマットしよう】(23ページ)をご覧ください。
●OSのインストールについて
弊社ではOSのインストールについてのサポート・保証はいたしておりません。B'sCrew for Windowsにて起動用ハードディスクの内容をコピーする方法のみサポートさせていただきます。

入れ替え手順

入れ替え手順について説明します。(48ページ)

入れ替え手順

ここでは、「B'sCrew for Windows」を使って起動用標準HDDの内容を本ハードディスクにコピーする手順について説明します。

B'sCrew for Windowsについて
ここで説明しているハードディスクの内容のコピー以外にも、ドライブのフォーマット、パーティションの編集などの機能があります。
詳しい機能の説明や使用方法についてはとして「B'sCrew for Windowsユーザーズマニュアル」を参照してください。
お問い合わせについては61ページをご覧ください。
また、B'sCrew for Windowsのアップデート情報等が、㈱ビー・エイチ・エー社のホームページ（http://www.bha.co.jp/）で案内されています。
最新のバージョンのご使用をお薦めします。

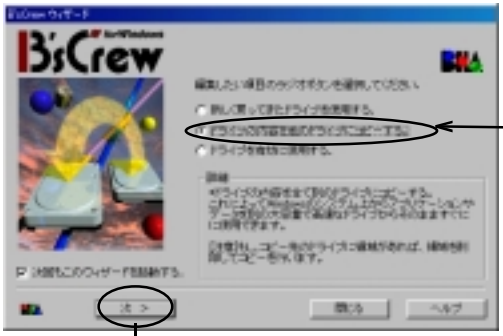
1 Windows 98/95を起動します。

2 B'sCrew for Windowsを起動します。

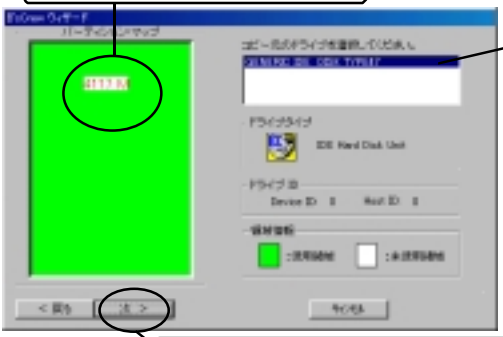
［スタート］→［プログラム］→［B'sCrew for Windows］→［B'sCrew for Windows］をクリックすると起動します。

B'sCrew for Windowsがインストールされていない場合
「B'sCrew for Windowsユーザーズマニュアル」を参照して、インストールしてください。

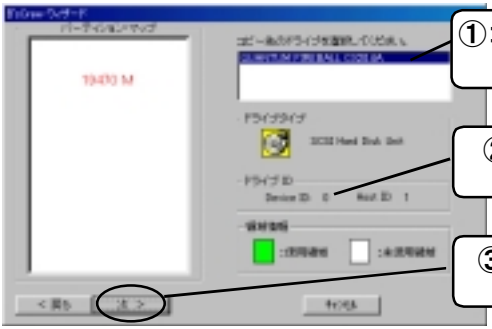
3



4


②ここの容量を確認
①コピー元(標準HDD)を選択
複数のIDEハードディスクがある場合は間違えないように!!
③［次 >］をクリック

5


①コピー先(本製品)のドライブをクリック
②ここの番号を確認
③[次>]をクリック

6


①型名、DRIVE IDを確認
コピー元
コピー先
②［はい］をクリック
コピー先の容量がコピー元より小さいとエラーになります。

7 後は画面の指示に従って操作してください。

コピーが終了しましたら、スキャンディスクなどでハードディスクのチェックを行うことをおすすめします。

パーティションについて
コピーしただけでは、コピー元（使用中の内蔵ハードディスク）と同じ容量となります。容量を変更したい場合は、「B'sCrew for Windowsユーザーズマニュアル」をご覧になり、「パーティションを編集」してください。
ただし、容量を変更するパーティションに10%の空き容量が必要です。

以上で内容のコピーは終了です。

【標準HDDの取り外し】(19ページ)をご覧ください。

付録

困った時には

本製品を使用中に、異常があったときにご覧ください。(52ページ)

標準HDDのジャンパ設定について

標準HDDのジャンパ設定をする際に参考としてご覧ください。(54ページ)

別売オプション品について

本製品の別売オプション品について説明します。(57ページ)

ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。(59ページ)

困った時には

ここは、本製品を使用中に異常があったときにご覧ください。

内容	ページ
「マイコンピュータ」に本ハードディスクのアイコンがない	52
パソコンが起動しない	53
B'sCrew for Windowsが「ドライブスキャン中」に動かなくなる	

「マイコンピュータ」に本ハードディスクのアイコンがない

原因1 本製品が正しく取り付けられていない

【取り付けよう】(13ページ)を参照して、取り付けを確認してください。

原因2 ハードディスクのジャンパ設定が正しくない

本ハードディスクのジャンパ設定は別紙「UHDI-GHシリーズについて」をご覧ください。
標準HDDのジャンパ設定については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

ジャンパ設定について
本書でも参考として標準HDDのジャンパ設定の一例を記載しています。
【標準HDDのジャンパ設定について】(54ページ)をご覧ください。
そこの通りに設定しても解決できない場合は、パソコンメーカーにお問い合わせください。

原因3 領域確保されていない

ハードディスクは領域確保を行わないとアイコンが表示されません。本製品の用途に合わせて【フォーマットしよう】(23ページ)もしくは【起動用にコピーしよう】(47ページ)をご覧ください。

パソコンが起動しない

原因１ 本製品が正しく取り付けられていない

【取り付けよう】(13ページ)を参照して、取り付けを確認してください。

原因２ ハードディスクのジャンパ設定が正しくない

本ハードディスクのジャンパ設定は別紙「UHD1-GHシリーズについて」をご覧ください。
標準HDDのジャンパ設定については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

ジャンパ設定について
本書でも参考として標準HDDのジャンパ設定の一例を記載しています。
【標準HDDのジャンパ設定について】(54ページ)をご覧ください。
そこの通りに設定しても解決できない場合は、パソコンメーカーにお問い合わせください。

原因３ 本ボードが正しくセットアップされていない

【本ボードを使えるようにしよう】(14ページ)をご覧の上で、セットアップをしてください。

B'sCrew for Windowsが「ドライブスキャン中」に動かなくなる

原因 ハードディスク内の構成によってはドライブスキャンに時間がかかる

ハードディスク内のパーティションの構成によっては、ドライブスキャンに数分かかることがあります。
ドライブスキャンが終了するまでお待ちください。

「応答なし」と表示される
[Ctrl] + [Alt] + [Delete] ([CTRL] + [GRPH] + [DEL])キーを同時に押すと、アプリケーションの状態が表示されます。
上の状態では「B'sCrew for Windows」は「応答なし」と表示されますが、異常ではありません。そのままお待ちください。

標準HDDのジャンパ設定について

ここでは、標準内蔵HDDのジャンパ設定の参考例を記載します。

標準HDDの見分けかた
標準HDDを取り外し、標準HDDの表面記述内に本ページ下以降で説明する社名がないか確認します。

一般的な標準HDD ..... 本ページ

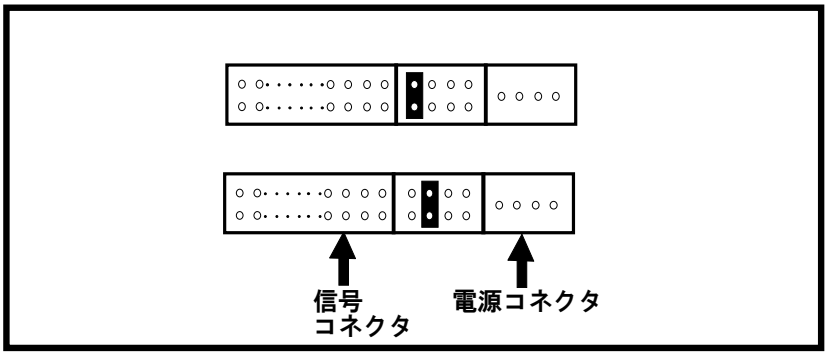
Western Digital社製の標準HDD ..... 次ページ

IBM社製の標準HDD ..... 次ページ

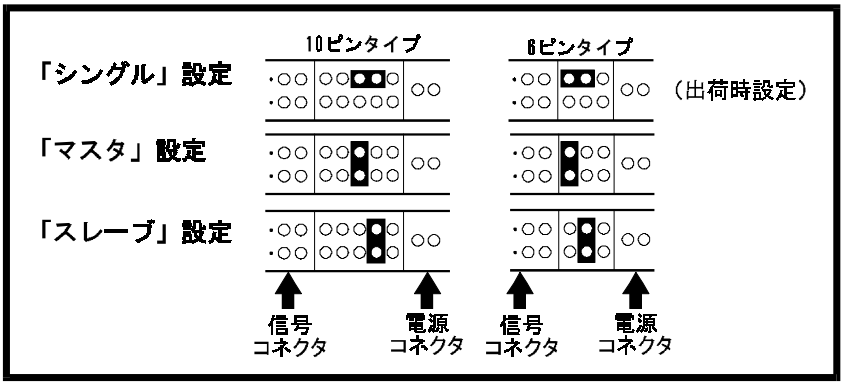
Quantum社製の標準HDD ５６

Maxtor社製の標準HDD ５６

一般的な標準HDDの場合

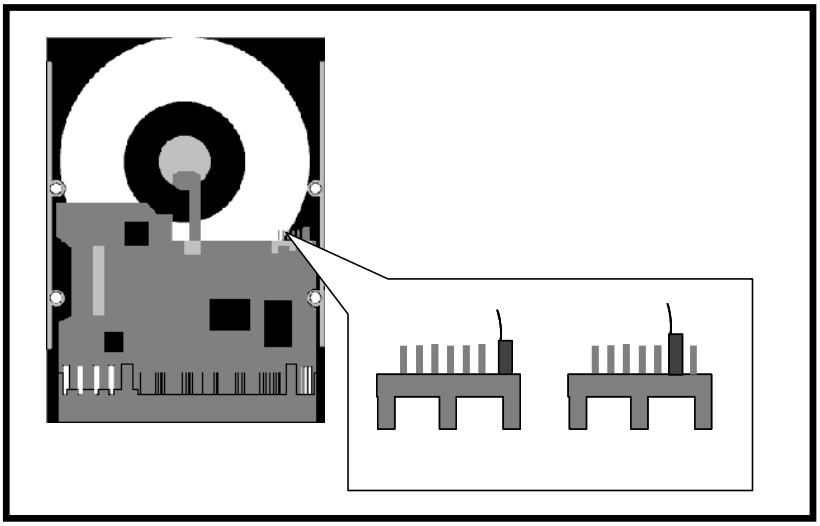


Western Digital社製の標準HDDの場合

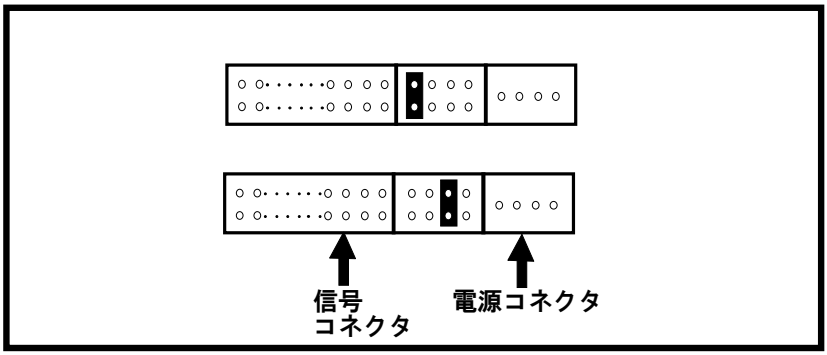


※ 「シングル」設定は、IDEフラットケーブル（の２つのコネクタ）にWestern Digital社製ハードディスク1台しか接続しない場合の設定です。

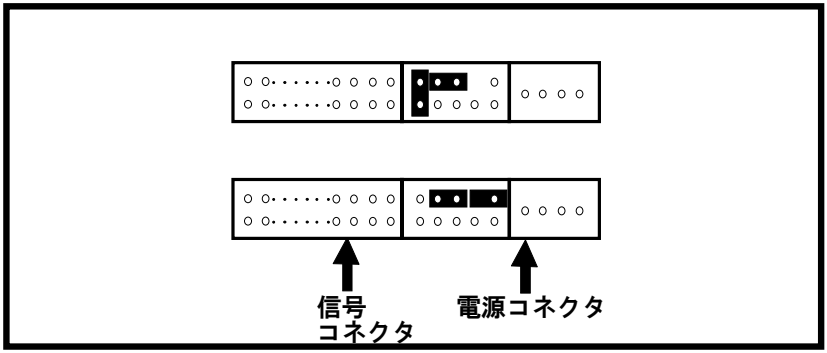
IBM社製の標準HDDの場合



Quantum社製の標準HDDの場合



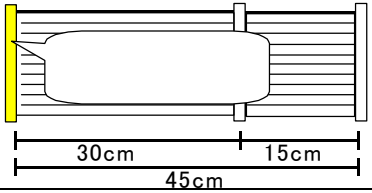
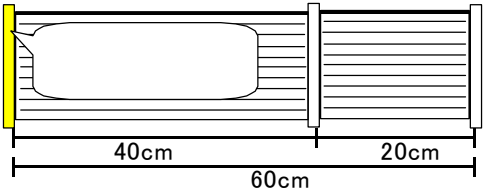
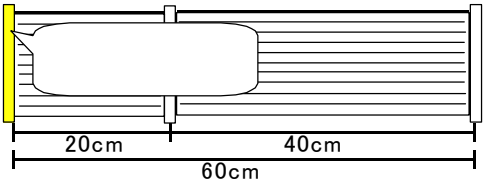
Maxtor社製の標準HDDの場合



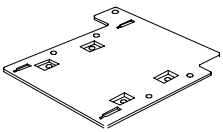
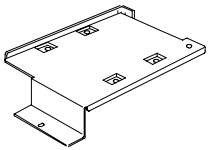
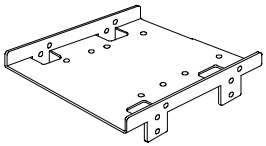
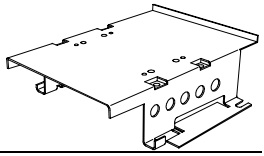
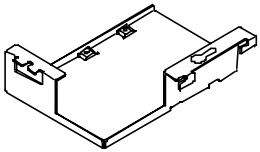
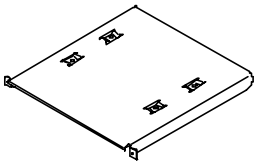
別売オプション品について

ここでは、本製品の別売オプション品について説明しています。

●Ultra ATA/66対応IDEフラットケーブル

型番	長さ	タイプ
FL-140H	45cm	
FL-140H-L	60cm	
FL-140H-L2	60cm	

●取り付け金具

型番	内容物	
HDK-DB	5インチベイ(ドライブベイ)用金具・・・1枚 本体装着用ネジA・・・・・4個	
HDK-BA	BA3, BX3用金具・・・・・・1枚 本体装着用ネジA・・・・・4個	
HDK-FB	ファイルベイ用金具・・・・1枚 本体装着用ネジA・・・・・4個 電源ケーブル・・・・・・・1本	
HDK-RA	専用固定ディスクドライブベイ用金具・・・・1枚	
HDK-NXS	取り付け金具・・・・・１個 本体装着用ネジA・・・・・４個 IDEフラットケーブル※・・１本	
HDK-NXM	取り付け金具・・・・・１個 本体装着用ネジA・・・・・４個 IDEフラットケーブル※・・・１本	

※ Ultra ATA/66には対応しておりません。
Ultra ATA/66対応IDEフラットケーブルについて前ページをご覧ください。

ハードウェア仕様

ここでは、本製品の仕様について説明しています。

●UHDI-GHシリーズ(本ハードディスク)

ハードウェア仕様については、添付の別紙をご覧ください。

●UIDE-66(本ボード)

ハードウェア仕様については、「UIDE-66取扱説明書」をご覧ください。

サポートセンターへのお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (本書の巻末に貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

《連絡方法》

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/support/** **「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。**
@nifty	**ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室**

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「UHDI-GH/UIシリーズ」係　宛

■電話

電話番号	**本社**	**076-260-3366**
	東京	**03-3254-0301**
受付時間	**9:30～19:00** **月～金曜日（祝祭日を除く）**	

■FAX

FAX番号	**本社**	**076-260-3360**
	東京	**03-3254-9055**
宛先	**株式会社アイ・オー・データ機器** **サポートセンター「UHDI-GH/UIシリーズ」係　宛**	

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

B'sCrew for Windowsに関するお問い合わせ

**B'sCrew for Windowsに関する
お問い合わせ**

B'sCrew for Windowsに関しては、ビー・エイチ・エー社までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

株式会社ビー･エイチ･エー　サポートセンター

TEL　06-6378-3334
FAX　06-6378-3336

受付時間：月～金曜日　10:00～12:00　14:00～17:00
（夏期･年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

B'sCrew for Windowsのバージョンアップ

ビー・エイチ・エー社製 「B'sCrew for Windows」のバージョンアップサービスは弊社では行っておりません。

バージョンアップをご希望される場合は添付の「ビー・エイチ・エー社　ユーザー登録ハガキ」にてユーザー登録を行ってください。

また、㈱ビー・エイチ・エー社のホームページでもバージョンアップができます。

㈱ビー・エイチ・エー社のホームページ
http://www.bha.co.jp/

サポートソフトのバージョンアップ

本ボードのサポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
@nifty	ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ7(LIB 7)

■サポート窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「UHDI-GH/UIシリーズ」 サポート窓口　宛

電話番号　076-263-3663

受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

- ●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- ●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- ●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやサポート窓口ではお受けできません。

B'sCrew for Windowsのバージョンアップ

ビー・エイチ・エー社製 「B'sCrew for Windows」のバージョンアップサービスは弊社では行っておりません。

詳しくは、前ページの【B'sCrew for Windowsのバージョンアップ】をご覧ください。

保証について

◎保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。
お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。修理するか否かを送られてきた往復ハガキにご記入の上、ご返送ください。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼頂くか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所 **〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
株式会社アイ・オー・データ機器
「UHDI-GH/UIシリーズ」 修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて
  申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

受付窓口 **「UHDI-GH/UIシリーズ」サービス窓口**
電話番号 **本社 076-260-3663**
受付時間 9:30〜12:00 13:00〜17:00
月〜金曜日（祝祭日を除く）